

令和元年度学校保健統計調査  
福 井 県 の 概 要  
( 速 報 )

令和元年12月

福井県 地域戦略部 統計情報課

目	次	
調査の概要	.....	2
調査結果の概要		
1 発育状態調査		
(1)身長・体重の状況	.....	3
ア 身長	.....	4
イ 体重	.....	4
(2)身長・体重の推移	.....	5
ア 身長	.....	5
イ 体重	.....	8
(3)全国平均値との比較	.....	11
ア 身長	.....	11
イ 体重	.....	13
2 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率		
(1)肥満傾向児および痩身傾向児の状況	.....	15
ア 肥満傾向児	.....	15
イ 痩身傾向児	.....	16
(2)全国との比較	.....	17
ア 肥満傾向児	.....	17
イ 痩身傾向児	.....	20
3 健康状態調査		
(1)疾病・異常等の状況	.....	24
(2)主な疾病・異常等の推移	.....	25
ア 裸眼視力 1.0 未満の者	.....	25
イ 鼻・副鼻腔疾患の者	.....	26
ウ むし歯(う歯)の者	.....	27
エ アトピー性皮膚炎の者	.....	28
オ ぜん息の者	.....	29

**留意事項**

- 1 この報告書は、令和元年度学校保健統計調査(文部科学省所管)について、福井県分の概要をとりまとめたものである。
- 2 この報告書は、福井県ホームページの統計情報(<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei/>)にて掲載している。
- 3 この報告書の数値は速報値であり、後日、文部科学省が公表する数値をもって確定値とする。

文部科学省が公表する報告書については、文部科学省ホームページ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm))で閲覧できる。

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、児童、生徒および幼児（以下「児童等」という。）の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の範囲・対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校および幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（平成31年4月1日現在）までの児童等の中から次表に示す人数を抽出し、調査の対象としている。

調査実施校数および調査対象者数(福井県)

区分	令和元年5月1日 現在(※1)	調査実施校	調査対象者数					
	在籍者数 a	学校数 b	発育状態			健康状態		
			調査実施1校 当たりの対象人数 c	実調査 人数(※5) d	割合 e=d/a	対象人数 f	実調査人数 g	割合 h=g/a
計	人 88,316	校 148		人 12,649	% 14.3	人 56,210	人 56,210	% 63.6
幼稚園・幼保連携型 認定こども園(※2)	3,458	31	男女別各 22人	882	25.5	971	971	28.1
小学校(※3)	41,467	57	年齢別男女各 8人	5,315	12.8	21,891	21,891	52.8
中学校(※3)	21,535	37	年齢別男女各 20人	4,427	20.6	15,841	15,841	73.6
高等学校(※4)	21,856	23	年齢別男女各 15人	2,025	9.3	17,507	17,507	80.1

※1 令和元年度学校基本調査(速報)による。

- 幼稚園・幼保連携型認定こども園の在籍者数は「幼稚園」と「幼保連携型認定こども園」の5歳の園児のみを計上している。
- 小学校には義務教育学校の第1～6学年の児童数を、中学校には義務教育学校の第7～9学年の生徒数をそれぞれ含む。
- 高等学校の在籍者には「通信制課程」を含まない。また実調査人数は1～3学年の生徒のみを計上している。
- 発育状態調査の実調査人数は、身長調査に係る実調査人数を計上している。  
また、年齢・男女別の児童・生徒数が1校当たりの対象人数に満たない学校は該当の児童等全員を実調査人数とした。

## 3 調査事項

- ① 児童等の発育状態 身長、体重
- ② 児童等の健康状態 栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無および結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無

## 4 調査期日

平成31年4月1日から令和元年6月30日までの間に実施した。

### 統計表中の符号について

- 「▲」 → 計数が負数の場合
- 「-」 → 該当者がいない場合
- 「0.0」 → 計数が単位未満の場合
- 「…」 → 調査対象とならなかった場合
- 「X」 → 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

## 5 標本抽出の方法

- (1) 児童生徒数および学校数に応じ調査実施校数を学校種別に決定する。
- (2) 次の①から③の方法で調査実施校を決定する。
  - ① 学校種別に、児童・生徒数に応じ、学校を層化する。
  - ② 調査実施校数を層数で割り、1層当たりの割当学校数を求める。
  - ③ 各層内において、調査実施校を単純無作為抽出する。

# 調査結果の概要

## 1 発育状態調査

### (1) 身長・体重の状況

令和元年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の身長および体重の福井県平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

また、各年齢の過去1年間の年間発育量は表2のとおりである。

**表1 年齢別 身長・体重の平均値**

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		男子	女子	男女差	男子	女子	男女差
		A	B	A-B	C	D	C-D
幼稚園	5歳	110.6	110.1	0.5	19.1	18.7	0.4
	6歳	117.2	115.8	1.4	21.7	21.2	0.5
	7歳	122.7	121.2	1.5	24.4	23.3	1.1
小学校	8歳	128.7	127.8	0.9	27.6	26.8	0.8
	9歳	133.8	133.9	▲ 0.1	30.4	30.3	0.1
	10歳	138.6	140.2	▲ 1.6	33.6	33.8	▲ 0.2
	11歳	145.5	146.9	▲ 1.4	38.6	38.8	▲ 0.2
中学校	12歳	153.3	152.4	0.9	45.3	44.0	1.3
	13歳	160.6	155.3	5.3	49.2	47.5	1.7
	14歳	166.0	157.1	8.9	54.1	50.3	3.8
高等学校	15歳	169.3	157.1	12.2	59.6	51.9	7.7
	16歳	170.4	158.0	12.4	60.8	52.7	8.1
	17歳	171.7	158.6	13.1	64.0	54.4	9.6

**表2 年齢別 過去1年間の発育量**

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	男子	6.6	5.9	5.7	5.0	5.1	6.4	7.5	7.6	5.4	3.3	1.9	1.6
	女子	5.7	5.8	5.4	6.1	6.5	6.5	5.8	2.7	1.5	▲ 0.2	1.3	0.3
体重 (kg)	男子	2.7	2.8	3.3	3.0	3.3	4.4	6.8	5.0	4.8	5.1	1.6	3.1
	女子	2.2	2.4	2.9	3.5	3.7	5.0	5.6	3.1	2.5	1.1	0.8	0.7

※この数値はR1年度の数値からH30年度の1歳下の値を差し引いて算出したものである。

例) 17歳の発育量(身長) = R1年度の17歳(身長) - H30年度の16歳(身長)

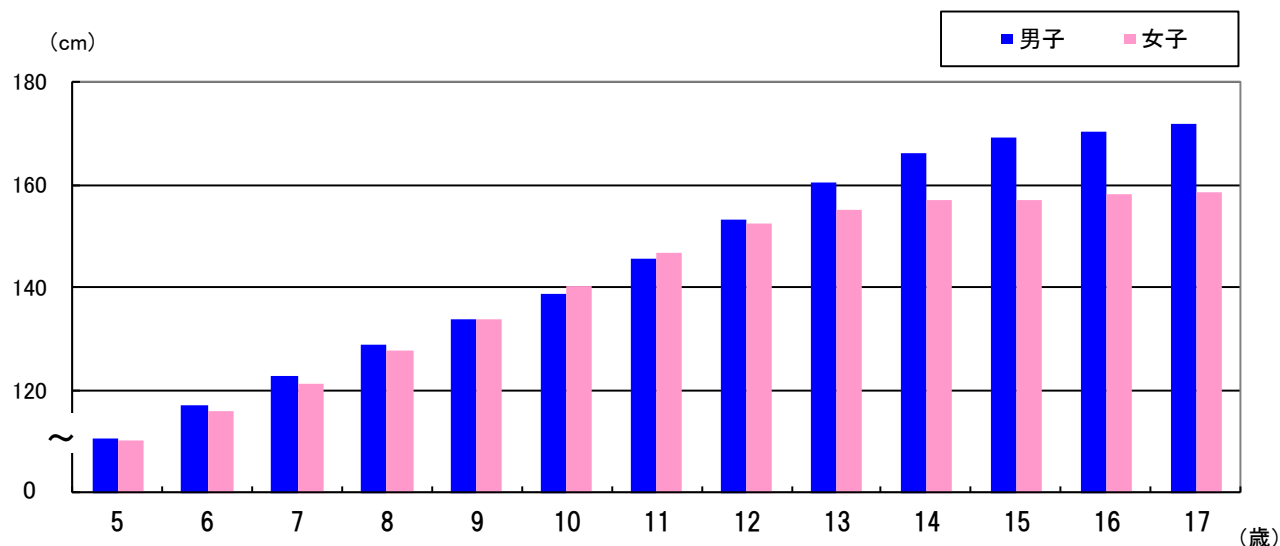
## ア 身長

男子の身長は、5歳（幼稚園）は110.6 cm、11歳（小学校6年）は145.5 cm、14歳（中学校3年）は166.0 cm、17歳（高等学校3年）は171.7 cmとなっている。年間の発育量は、13歳が7.6 cm大きくなっている。（表1、表2）

女子の身長は、5歳は110.1 cm、11歳は146.9 cm、14歳は157.1 cm、17歳は158.6 cmとなっている。年間の発育量は、10歳および11歳が6.5 cm大きくなっている。（表1、表2）

男女別で比較すると、9歳から11歳までは女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。（図1）

図1 男女別、年齢別身長の平均値



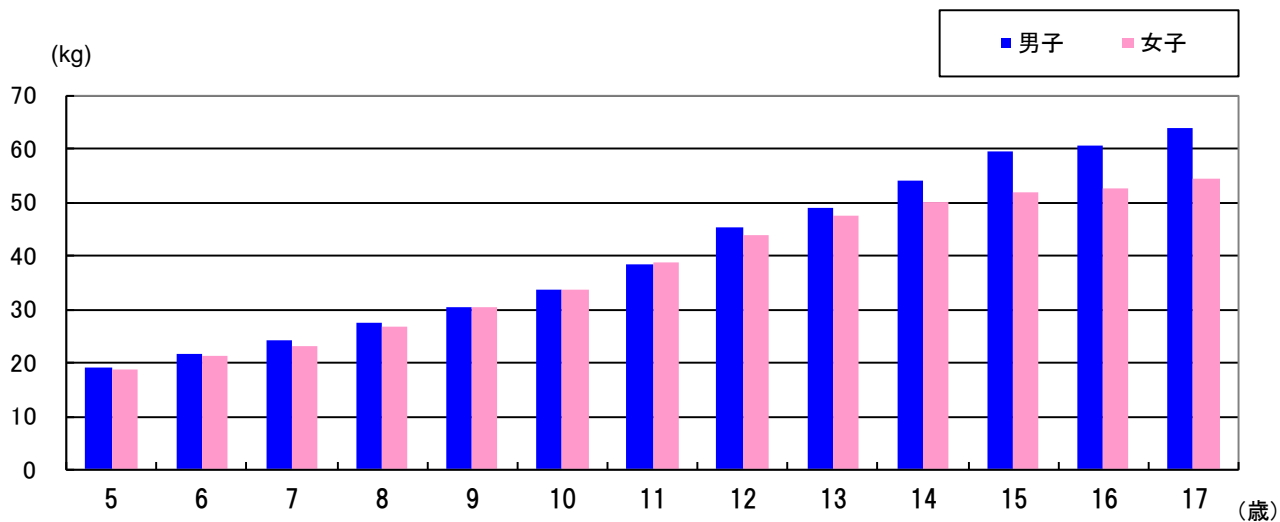
## イ 体重

男子の体重は、5歳（幼稚園）は19.1 kg、11歳（小学校6年）は38.6 kg、14歳（中学校3年）は54.1 kg、17歳（高等学校3年）は64.0 kgとなっている。年間の発育量は、12歳が6.8 kg大きくなっている。（表1、表2）

女子の体重は、5歳は18.7 kg、11歳は38.8 kg、14歳は50.3 kg、17歳は54.4 kgとなっている。年間の発育量は、12歳が5.6 kg大きくなっている。（表1、表2）

男女別で比較すると、10歳から11歳までは女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。（図2）

図2 男女別、年齢別体重の平均値



## (2) 身長・体重の推移

### ア 身長

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表3のとおりである。

各学校種別の最高学年の身長について令和元年度と昭和44年度(50年前)を比較すると、男女とも全学年において伸びている。最近10年間では、男女ともほぼ横ばい傾向にある。(表3)

表3 男女別、年齢別 身長の推移

(単位：cm)

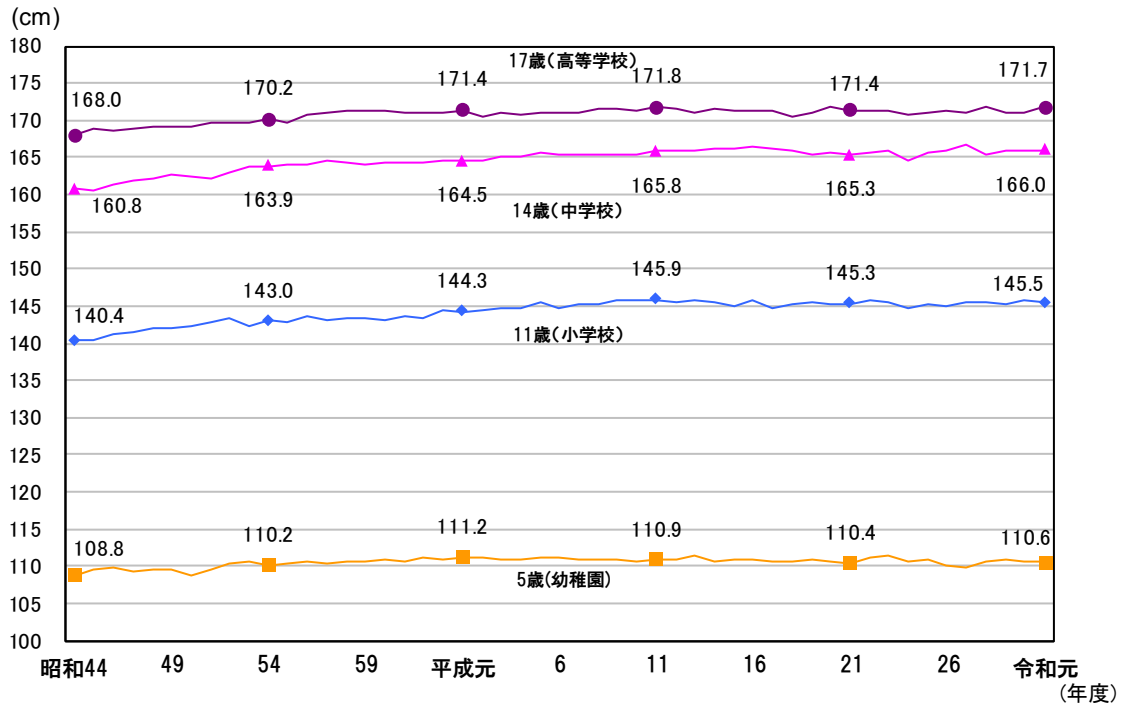
区 分			年 度							身 長 差			
			50年前	30年前	10年前					令和	現在と	現在と	現在と
			昭和 44年度	平成 元年度	平成 21年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	元年度	50年前	30年前	10年前
			A	B	C				D	D-A	D-B	D-C	
男 子	幼稚園	5歳	108.8	111.2	110.4	109.7	110.5	110.8	110.6	110.6	1.8	▲ 0.6	0.2
		6歳	114.4	117.0	116.9	116.5	116.6	116.7	116.8	117.2	2.8	0.2	0.3
		7歳	119.9	123.1	123.0	122.3	122.3	122.5	123.0	122.7	2.8	▲ 0.4	▲ 0.3
	小学校	8歳	125.2	128.0	128.5	128.5	128.2	128.0	128.8	128.7	3.5	0.7	0.2
		9歳	130.4	133.2	134.2	133.8	134.2	133.9	133.5	133.8	3.4	0.6	▲ 0.4
		10歳	135.0	138.2	139.1	138.7	139.2	139.2	139.1	138.6	3.6	0.4	▲ 0.5
		11歳	140.4	144.3	145.3	145.5	145.6	145.3	145.8	145.5	5.1	1.2	0.2
	中学校	12歳	147.1	151.8	152.7	153.1	152.9	153.3	153.0	153.3	6.2	1.5	0.6
		13歳	154.3	159.2	159.9	159.7	160.3	160.6	160.6	160.6	6.3	1.4	0.7
		14歳	160.8	164.5	165.3	<u>166.6</u>	165.5	165.8	166.0	166.0	5.2	1.5	0.7
	高等学校	15歳	165.2	168.3	169.0	169.2	168.8	169.0	168.5	169.3	4.1	1.0	0.3
		16歳	167.3	170.4	<u>171.0</u>	170.9	170.2	170.5	170.1	170.4	3.1	0.0	▲ 0.6
		17歳	168.0	171.4	171.4	170.9	171.7	170.9	171.1	171.7	3.7	0.3	0.3
女 子	幼稚園	5歳	107.7	109.7	109.6	109.7	109.8	109.6	110.1	110.1	2.4	0.4	0.5
		6歳	113.4	116.3	115.8	115.9	115.5	115.6	115.4	115.8	2.4	▲ 0.5	0.0
		7歳	119.0	121.7	121.7	121.6	121.4	121.7	<u>122.4</u>	121.2	2.2	▲ 0.5	▲ 0.5
	小学校	8歳	124.4	127.8	127.7	127.7	127.6	128.0	127.8	127.8	3.4	0.0	0.1
		9歳	129.7	133.2	134.1	134.0	133.5	133.6	133.7	133.9	4.2	0.7	▲ 0.2
		10歳	136.0	139.4	140.6	140.3	140.4	140.1	140.4	140.2	4.2	0.8	▲ 0.4
		11歳	142.4	145.8	146.9	146.8	147.0	147.2	146.6	146.9	4.5	1.1	0.0
	中学校	12歳	148.6	152.0	152.6	151.7	152.5	152.1	152.6	152.4	3.8	0.4	▲ 0.2
		13歳	152.4	155.2	155.9	155.2	155.0	155.5	155.6	155.3	2.9	0.1	▲ 0.6
		14歳	154.4	157.1	157.3	156.8	157.2	156.8	157.3	157.1	2.7	0.0	▲ 0.2
	高等学校	15歳	155.3	157.7	157.6	157.9	157.2	157.7	156.7	157.1	1.8	▲ 0.6	▲ 0.5
		16歳	155.7	158.2	158.3	157.6	157.8	158.2	158.3	158.0	2.3	▲ 0.2	▲ 0.3
		17歳	155.8	158.7	<u>158.9</u>	157.9	158.1	157.7	158.2	158.6	2.8	▲ 0.1	▲ 0.3

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

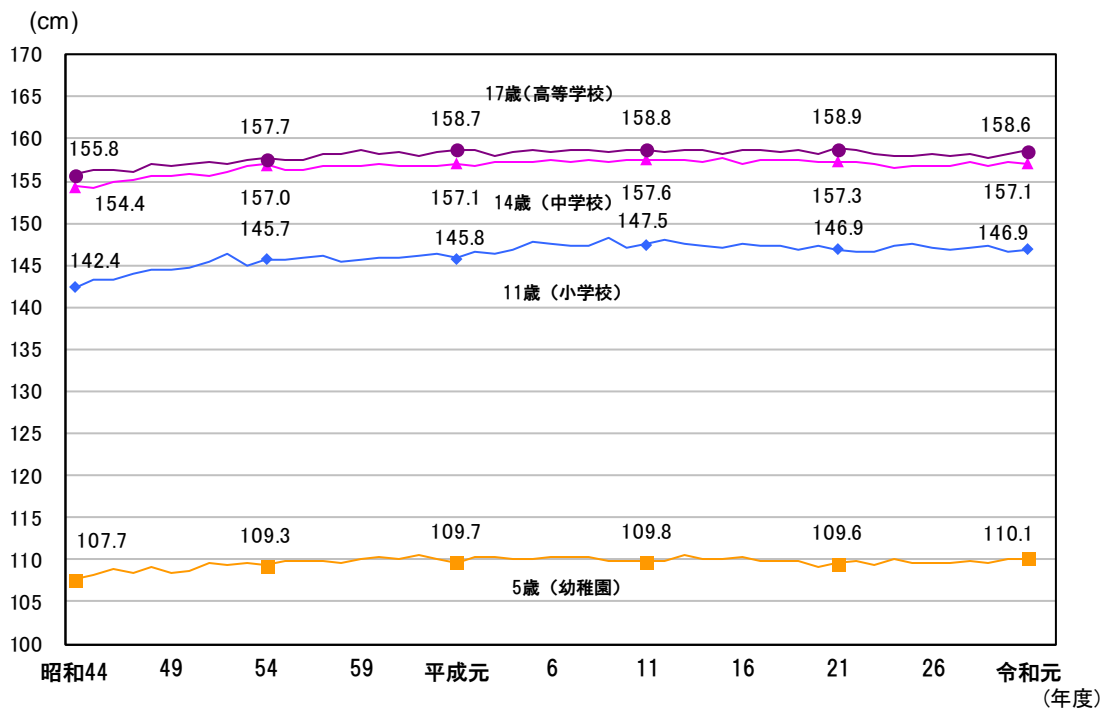
さらに詳しく令和元年度と昭和44年度の比較をみると、男子では5歳（幼稚園）は1.8cm、11歳（小学校6年）は5.1cm、14歳（中学校3年）は5.2cm、17歳（高等学校3年）は3.7cm、女子では5歳は2.4cm、11歳は4.5cm、14歳は2.7cm、17歳は2.8cm高くなっている。（表3、図3）

図3 平均身長推移（昭和44年度～令和元年度）

男子

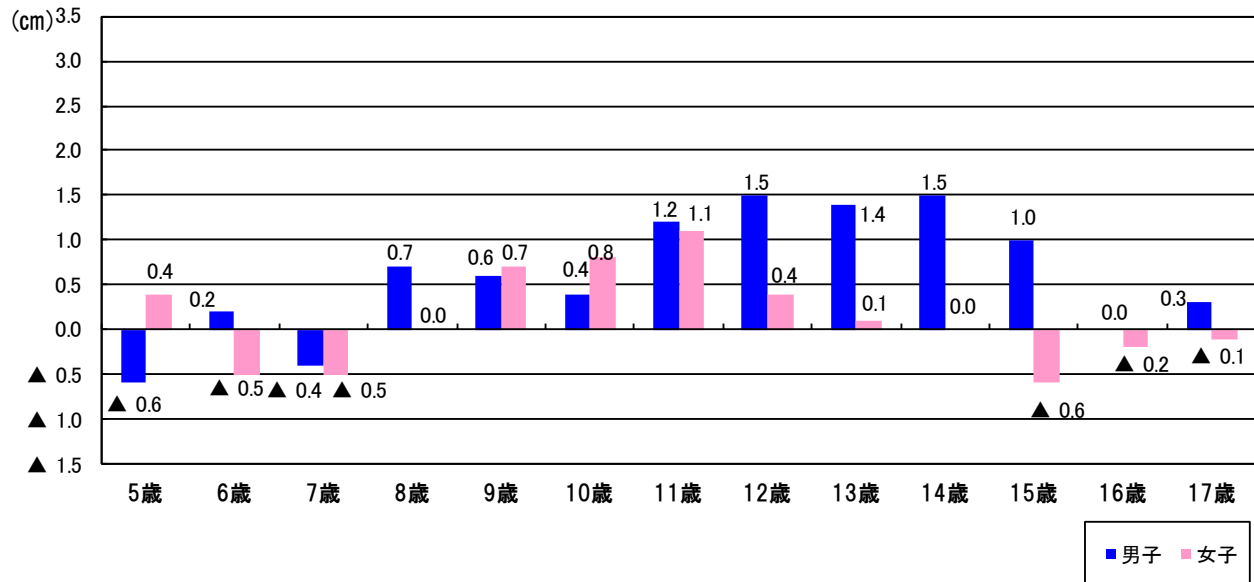


女子



親の世代(30年前の同じ年齢の者=平成元年度調査値)との比較では、男子の5歳および7歳、女子の6歳、7歳および15歳から17歳までは子世代が親世代を下回っており、男子の16歳、女子の8歳および14歳は同水準となっている、それ以外は男女とも子世代が親世代を上回っている。  
(図4)

図4 親子世代間の身長差(令和元年度調査値-平成元年度調査値)





# イ 体 重

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表4のとおりである。

各学校種別の最高学年の体重について、令和元年度と昭和44年度（50年前）を比較すると、男女とも全学年において増加している。（表4）

**表4 男女別、年齢別 体重の推移**

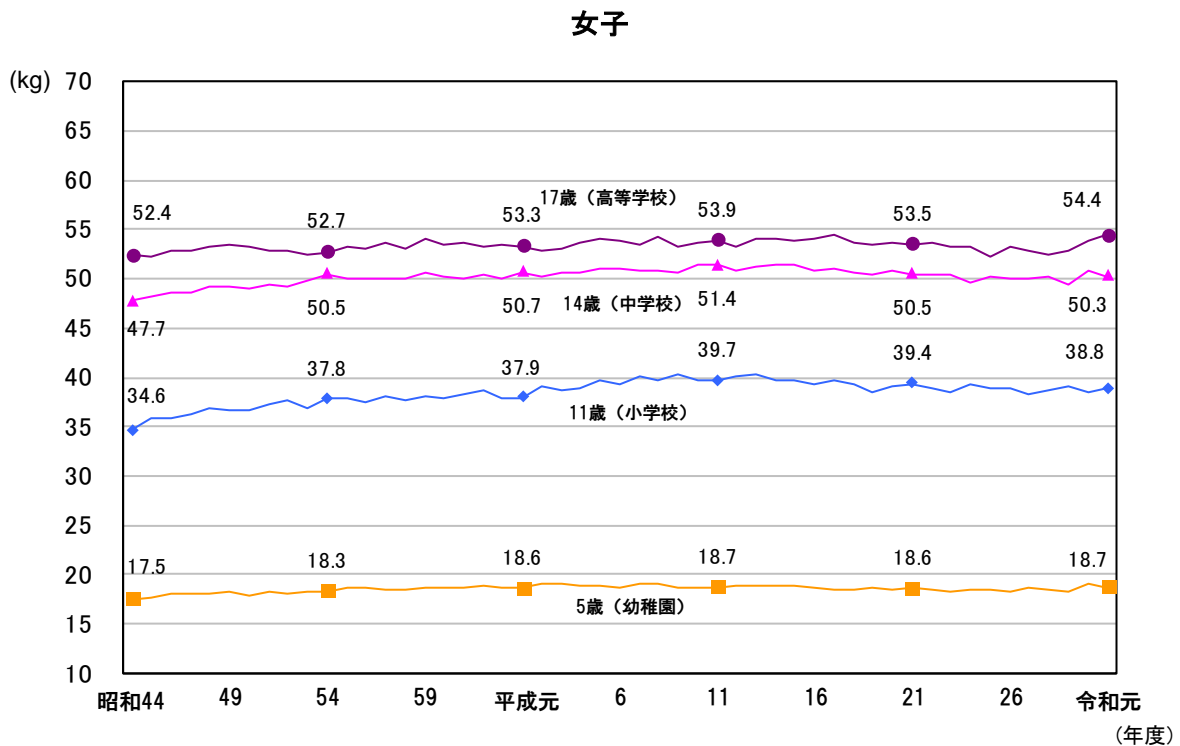
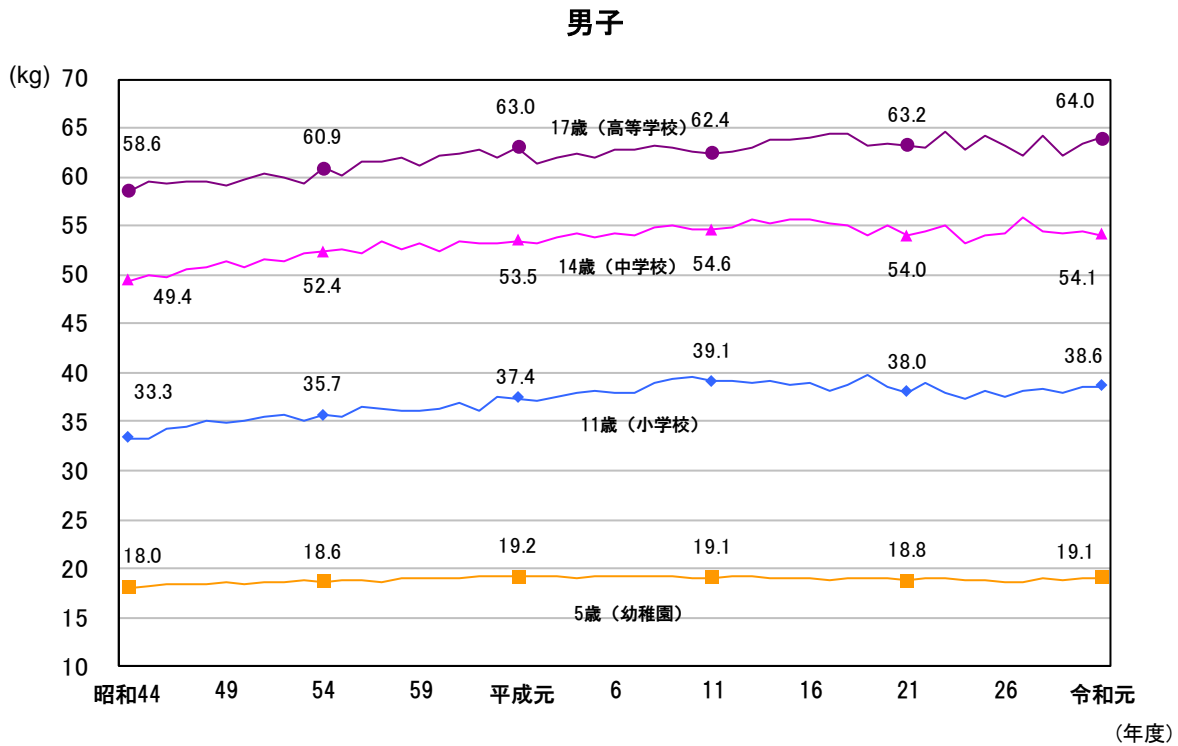
（単位：kg）

区 分			年 度							体 重 差			
			50年前	30年前	10年前	平成	平成	平成	平成	令和	現在と	現在と	現在と
			昭和 44年度	平成 元年度	平成 21年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	50年前	30年前	10年前
			A	B	C					D	D-A	D-B	D-C
男 子	幼稚園	5歳	18.0	19.2	18.8	18.6	19.0	18.9	19.0	19.1	1.1	▲ 0.1	0.3
		6歳	19.8	21.5	21.6	21.3	21.4	21.7	21.6	21.7	1.9	0.2	0.1
		7歳	22.0	24.0	24.5	24.0	23.9	24.0	24.3	24.4	2.4	0.4	▲ 0.1
	小学校	8歳	24.4	27.0	27.6	27.0	27.3	27.1	27.4	27.6	3.2	0.6	0.0
		9歳	27.2	29.9	30.9	30.1	31.1	30.8	30.3	30.4	3.2	0.5	▲ 0.5
		10歳	30.0	32.9	34.0	33.2	33.5	34.5	34.2	33.6	3.6	0.7	▲ 0.4
		11歳	33.3	37.4	38.0	38.2	38.3	38.0	38.5	38.6	5.3	1.2	0.6
	中学校	12歳	38.2	43.4	44.1	43.8	44.1	43.7	44.2	45.3	7.1	1.9	1.2
		13歳	43.9	48.7	49.1	48.6	49.2	49.4	49.3	49.2	5.3	0.5	0.1
		14歳	49.4	53.5	54.0	55.8	54.4	54.2	54.5	54.1	4.7	0.6	0.1
	高等学校	15歳	53.8	59.3	59.4	59.1	60.2	59.0	59.2	59.6	5.8	0.3	0.2
		16歳	56.9	60.8	62.2	60.6	61.6	61.0	60.9	60.8	3.9	0.0	▲ 1.4
		17歳	58.6	63.0	63.2	62.2	64.3	62.2	63.4	64.0	5.4	1.0	0.8
	女 子	幼稚園	5歳	17.5	18.6	18.6	18.6	18.4	18.3	19.0	18.7	1.2	0.1
6歳			19.3	20.9	20.9	20.9	20.6	20.9	20.9	21.2	1.9	0.3	0.3
7歳			21.0	23.2	23.5	23.5	23.3	23.7	23.9	23.3	2.3	0.1	▲ 0.2
小学校		8歳	24.0	26.3	26.6	26.5	26.4	26.8	26.8	26.8	2.8	0.5	0.2
		9歳	26.9	29.9	30.3	29.7	29.4	29.7	30.1	30.3	3.4	0.4	0.0
		10歳	30.5	33.7	34.0	33.8	34.1	34.1	33.8	33.8	3.3	0.1	▲ 0.2
		11歳	34.6	37.9	39.4	38.2	38.6	39.1	38.4	38.8	4.2	0.9	▲ 0.6
中学校		12歳	40.2	43.9	44.0	42.7	44.4	43.9	44.4	44.0	3.8	0.1	0.0
		13歳	44.7	47.3	47.8	47.1	47.0	47.8	47.8	47.5	2.8	0.2	▲ 0.3
		14歳	47.7	50.7	50.5	50.1	50.2	49.5	50.8	50.3	2.6	▲ 0.4	▲ 0.2
高等学校		15歳	50.0	52.6	52.0	51.6	52.6	52.0	51.9	51.9	1.9	▲ 0.7	▲ 0.1
		16歳	51.8	53.3	52.8	52.4	53.1	52.9	53.7	52.7	0.9	▲ 0.6	▲ 0.1
		17歳	52.4	53.3	53.5	52.9	52.5	52.9	53.8	<u>54.4</u>	2.0	1.1	0.9

（注）数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

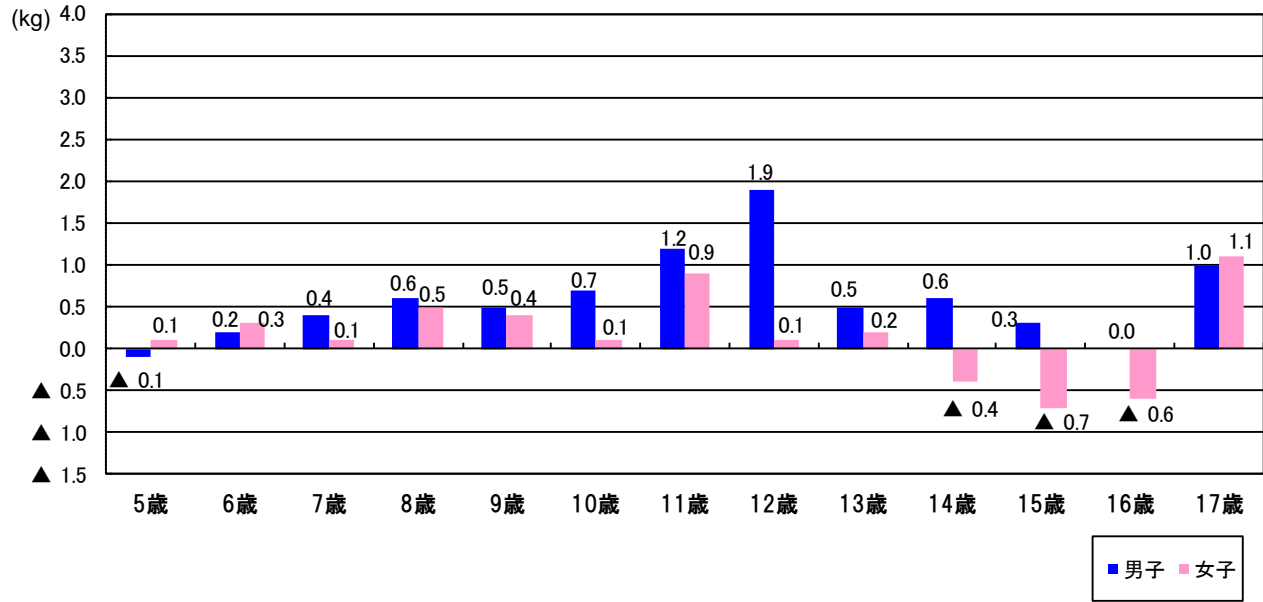
さらに詳しく令和元年度と昭和44年度の比較をみると、男子では5歳（幼稚園）は1.1kg、11歳（小学校6年）は5.3kg、14歳（中学校3年）は4.7kg、17歳（高等学校3年）は5.4kg、女子では5歳は1.2kg、11歳は4.2kg、14歳で2.6kg、17歳で2.0kg重くなっている。（表4、図5）

図5 平均体重の推移(昭和44年度～令和元年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝平成元年度調査値）との比較では、男子の5歳および女子の14歳から16歳までを除き、子世代が親世代を上回っている。（図6）

図6 親子世代間の体重差（令和元年度調査値－平成元年度調査値）



### (3) 全国平均値との比較

#### ア 身長

全国との比較では、男女ともにほとんどの年齢において全国平均値を上回っているが、男子では10歳、女子では7歳、15歳において全国平均値を下回っている。(図7)

全国における順位は、男子では17歳が全国1位に、6歳および15歳が全国3位となっており、女子では17歳が全国2位となっている。(表5)

図7 全国平均値との比較(身長)

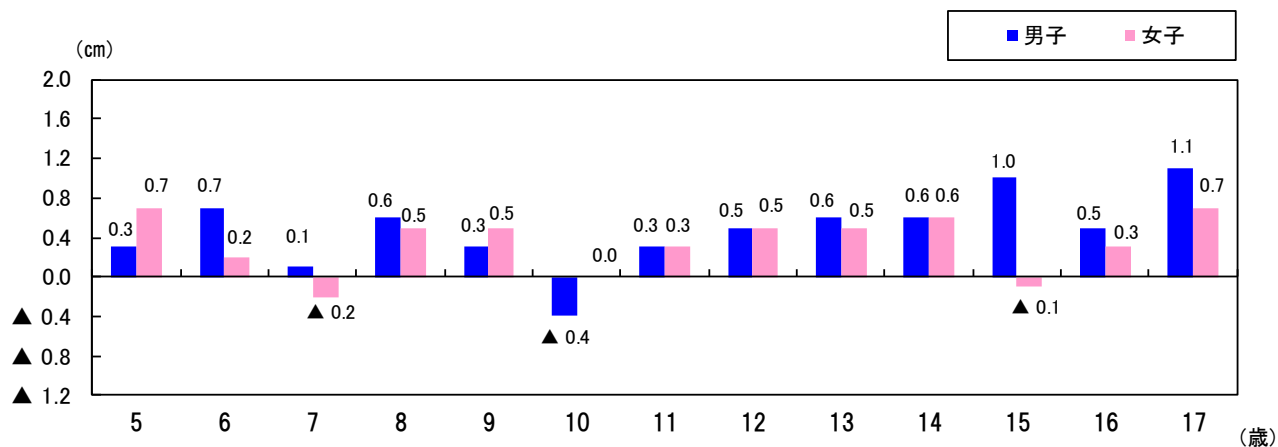


表5 本県の順位（身長）

（単位:cm、位）

区分		令和元年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		30年度	29年度
男 子	5歳	110.3	110.6	11	111.4	富山県	109.0	沖縄県	9	8
	6歳	116.5	117.2	3	117.8	青森県	115.5	大分県	7	11
	7歳	122.6	122.7	13	123.4	青森県、秋田県、 山形県、新潟県	121.4	鹿児島県	6	19
	8歳	128.1	128.7	6	129.3	秋田県	126.8	沖縄県	7	29
	9歳	133.5	133.8	13	134.7	山形県	132.3	愛媛県	22	8
	10歳	139.0	138.6	32	140.6	秋田県	137.9	広島県	15	16
	11歳	145.2	145.5	14	147.0	秋田県	143.8	山口県	11	18
	12歳	152.8	153.3	12	154.5	秋田県	151.5	島根県	14	11
	13歳	160.0	160.6	9	161.7	秋田県	158.9	山口県、宮崎県	8	9
	14歳	165.4	166.0	8	166.9	秋田県	164.2	広島県、沖縄県	9	8
	15歳	168.3	169.3	3	169.4	富山県、滋賀県	166.9	沖縄県	17	4
	16歳	169.9	170.4	4	170.6	富山県	168.5	沖縄県	16	6
	17歳	170.6	171.7	1	171.7	福井県	168.6	沖縄県	7	11
女 子	5歳	109.4	110.1	6	110.6	青森県、新潟県、 石川県	108.5	沖縄県	3	11
	6歳	115.6	115.8	13	116.8	秋田県	114.5	鹿児島県	26	18
	7歳	121.4	121.2	30	122.5	秋田県	120.8	広島県、鹿児島県、 沖縄県	4	10
	8歳	127.3	127.8	6	128.8	青森県	126.4	愛媛県	6	7
	9歳	133.4	133.9	9	135.2	秋田県	132.6	山口県	16	16
	10歳	140.2	140.2	21	141.9	秋田県	138.7	山口県、香川県	12	20
	11歳	146.6	146.9	11	147.8	青森県、秋田県	145.5	広島県	31	8
	12歳	151.9	152.4	4	153.2	秋田県	151.0	山口県、愛媛県	4	11
	13歳	154.8	155.3	6	155.7	青森県、秋田県	153.5	沖縄県	4	3
	14歳	156.5	157.1	4	157.2	秋田県、神奈川県、 石川県	155.1	沖縄県	2	8
	15歳	157.2	157.1	15	158.4	富山県	155.1	沖縄県	27	3
	16歳	157.7	158.0	10	158.7	山形県	155.5	沖縄県	2	3
	17歳	157.9	158.6	2	158.8	石川県	156.8	香川県、愛媛県、 大分県、沖縄県	7	20

## イ 体 重

全国との比較では、男子では9歳、10歳および11歳は全国平均値を下回っている。女子では7歳、10歳および11歳は全国平均値を下回っている。(図8)

全国における順位は、女子の17歳が全国2位となっている。(表6)

図8 全国平均値との比較(体重)

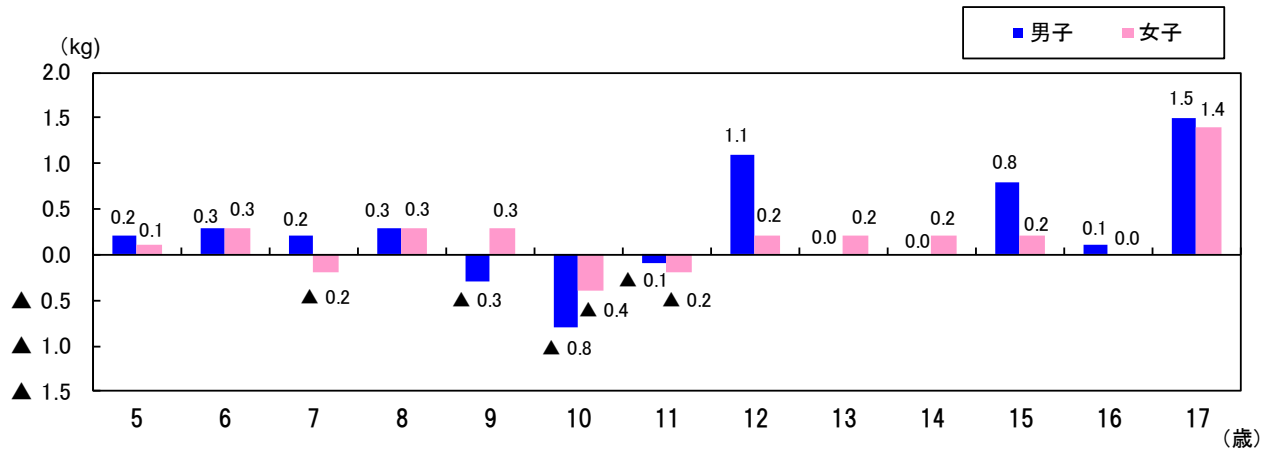


表6 本県の順位（体重）

(単位:kg、位)

区分	令和元年度							過去の順位		
	全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		30年度	29年度	
男子	5歳	18.9	19.1	11	19.6	岩手県	18.4	京都府、鳥取県、 島根県、沖縄県	14	19
	6歳	21.4	21.7	9	22.6	青森県	21.0	岡山県、広島県、 山口県	12	8
	7歳	24.2	24.4	13	25.1	青森県、岩手県、 秋田県	23.5	広島県	15	27
	8歳	27.3	27.6	17	29.1	青森県	26.7	京都府、大阪府、 山口県、沖縄県	13	23
	9歳	30.7	30.4	35	32.1	青森県、岩手県、 山形県	29.8	島根県	35	15
	10歳	34.4	33.6	42	36.2	北海道	33.3	静岡県、島根県	20	13
	11歳	38.7	38.6	26	41.0	秋田県	37.1	山口県	20	26
	12歳	44.2	45.3	9	46.7	秋田県	42.4	滋賀県、島根県	20	30
	13歳	49.2	49.2	22	52.0	青森県	47.6	滋賀県	17	15
	14歳	54.1	54.1	20	57.4	青森県	52.6	兵庫県	11	16
	15歳	58.8	59.6	15	61.9	秋田県	57.3	山口県	19	23
	16歳	60.7	60.8	23	63.5	秋田県	59.4	愛知県	22	20
	17歳	62.5	64.0	6	65.5	青森県	60.6	静岡県	8	33
女子	5歳	18.6	18.7	12	19.4	青森県	18.2	長野県、沖縄県	5	36
	6歳	20.9	21.2	14	21.8	青森県	20.3	長野県	21	23
	7歳	23.5	23.3	38	24.6	秋田県	23.1	山口県	8	12
	8歳	26.5	26.8	15	28.2	青森県	25.8	京都府	12	12
	9歳	30.0	30.3	19	31.7	秋田県	29.2	兵庫県	20	30
	10歳	34.2	33.8	37	36.1	青森県	32.9	山口県	36	17
	11歳	39.0	38.8	29	41.5	岩手県	38.1	三重県、兵庫県	41	22
	12歳	43.8	44.0	24	45.9	青森県	42.9	滋賀県、京都府	9	17
	13歳	47.3	47.5	25	49.0	秋田県、福島県	46.4	滋賀県、兵庫県	11	12
	14歳	50.1	50.3	16	51.9	青森県	49.2	滋賀県	8	41
	15歳	51.7	51.9	18	53.5	青森県	50.3	沖縄県	17	16
	16歳	52.7	52.7	26	54.5	秋田県	51.4	沖縄県	5	21
	17歳	53.0	54.4	2	54.8	岩手県	51.9	広島県	7	33

## 2 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

### (1) 肥満傾向児および痩身傾向児の状況

#### ア 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は、前年度と比較すると、男子は幼稚園、小学校、高等学校、女子は小学校、高等学校が増加している。(図9-1、図9-2)

図9-1 学校種別 肥満傾向児の推移 (福井県)

#### 男子

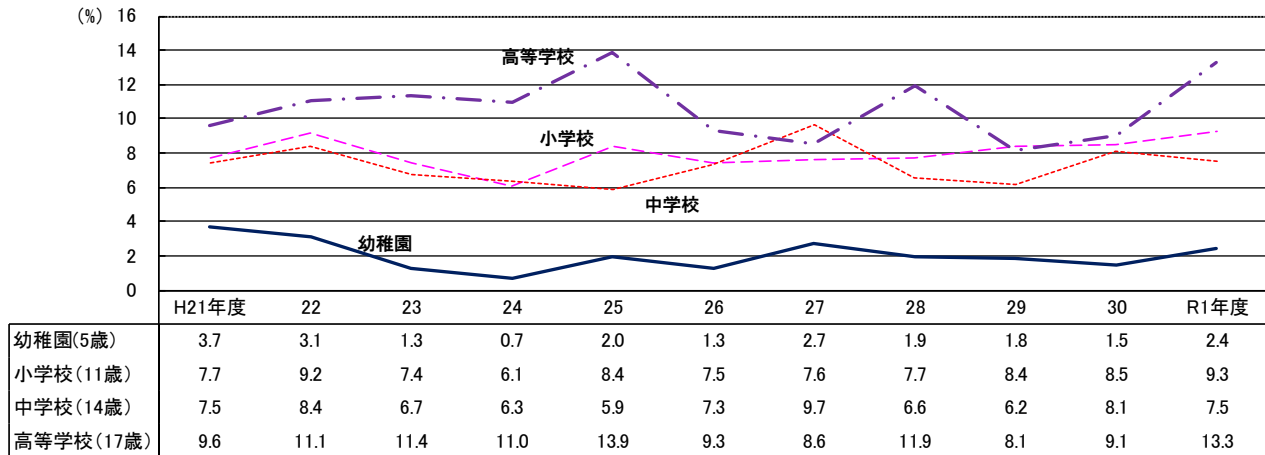
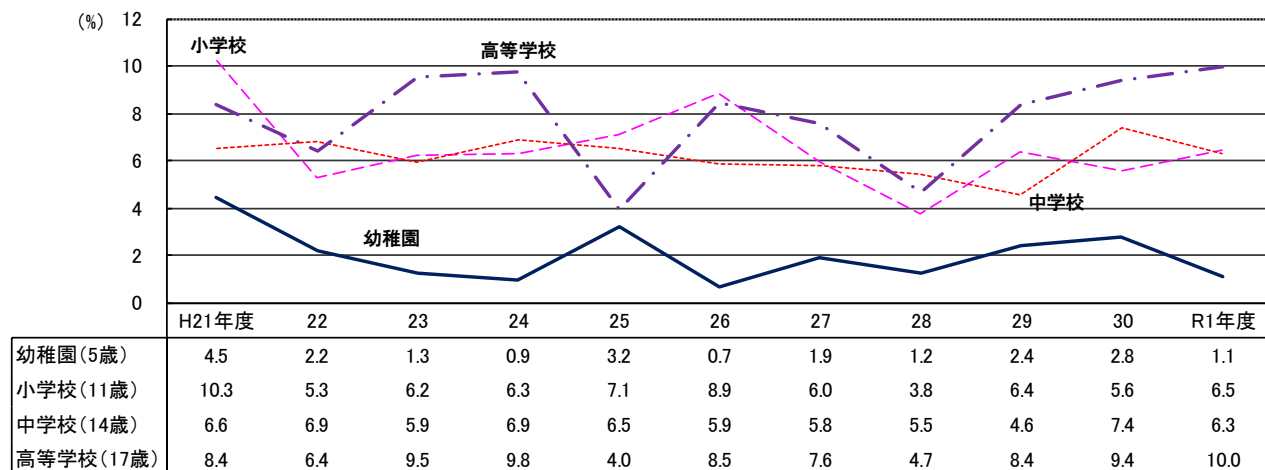


図9-2 学校種別 肥満傾向児の推移 (福井県)

#### 女子



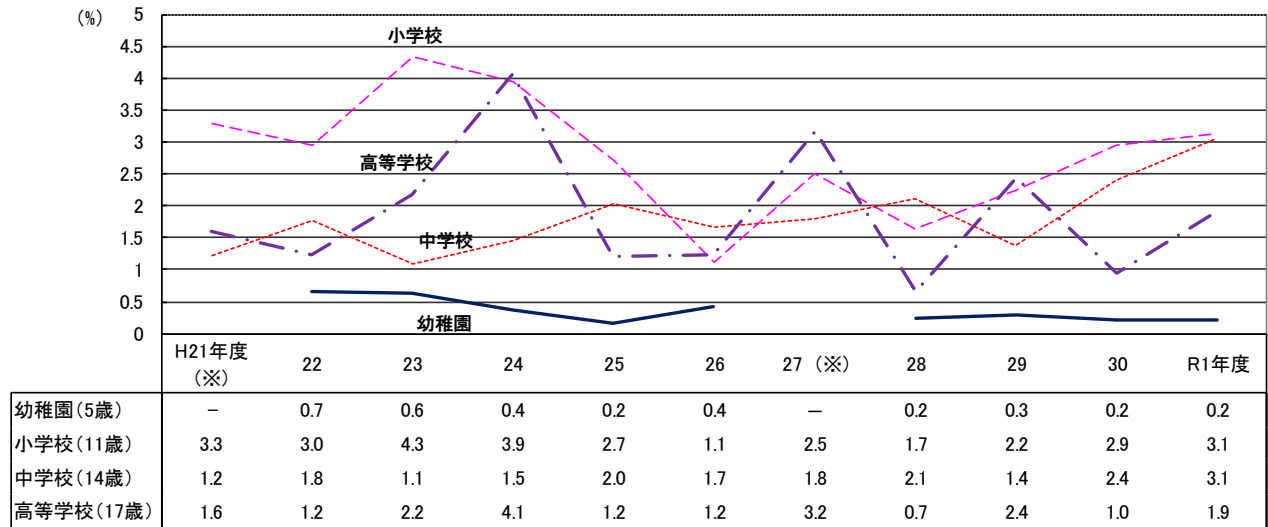


## イ 瘦身傾向児

瘦身傾向児の出現率は、前年度と比較すると、男子は小学校、中学校、高等学校、女子は幼稚園が増加している。(図10-1, 図10-2)

図10-1 学校種別 瘦身傾向児の推移 (福井県)

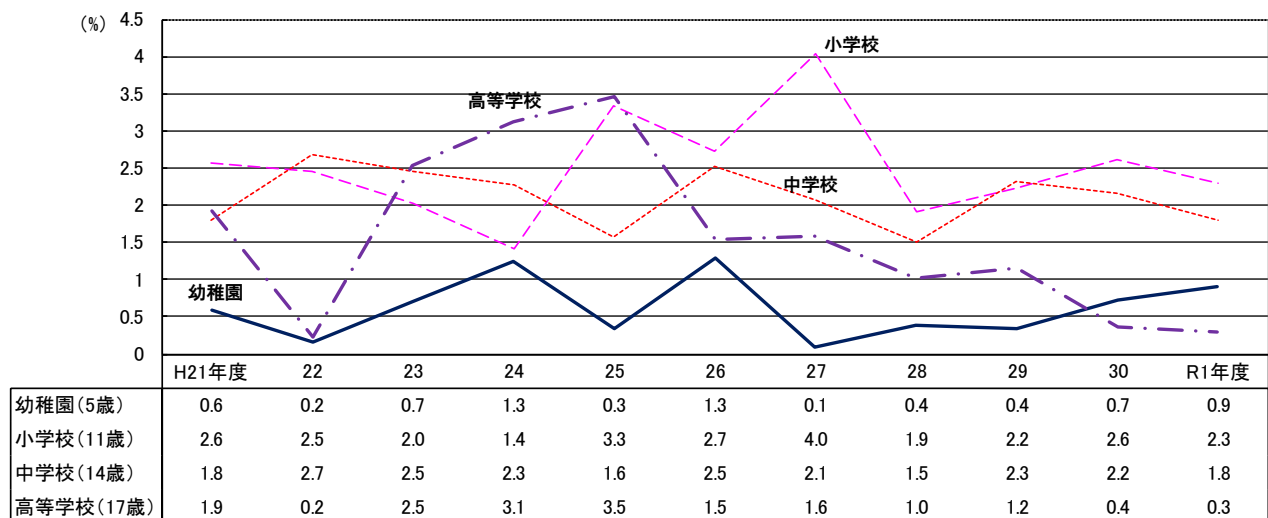
### 男子



※ 幼稚園のH21,27は該当者なし。

図10-2 学校種別 瘦身傾向児の推移 (福井県)

### 女子



## (2) 全国との比較

### ア 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率を全国平均と比較すると、男子は8歳、12歳、16歳、17歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。女子は17歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。(図11-1、図11-2、表7)

平成21年度(10年前)と比較すると、男子は全国平均値を下回る年齢が減少しており、女子は全国平均値を下回る年齢が増加している。(表7)

都道府県で比較すると、男子の9歳および女子の5歳、9歳では全国で最も出現率が低い。(表8)

図11-1 肥満傾向児の出現率(福井県・全国)

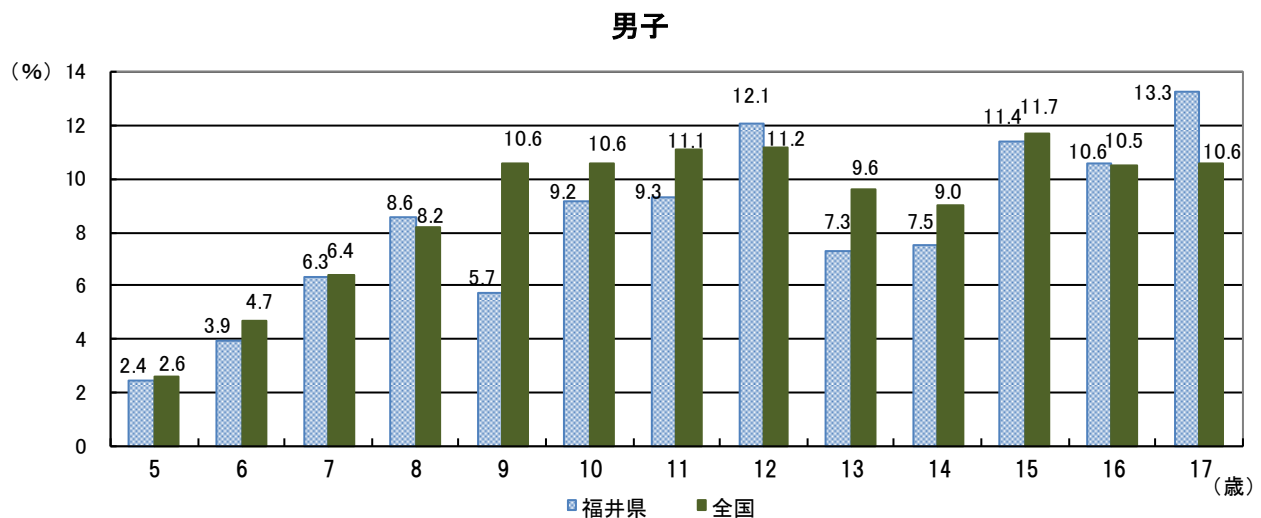


図11-2 肥満傾向児の出現率(福井県・全国)

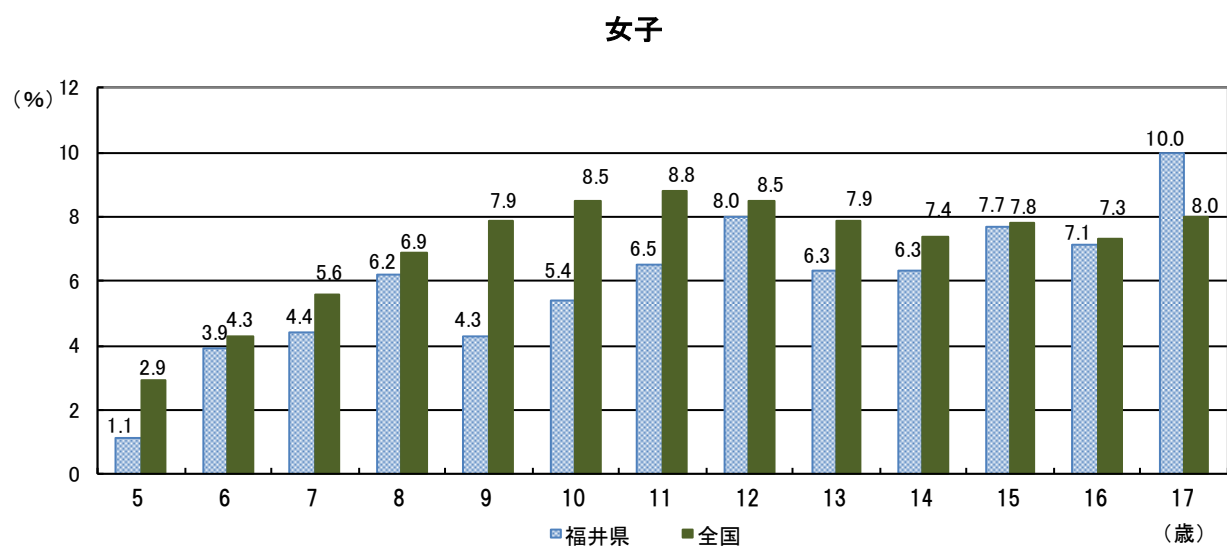


表7 全国平均値との比較（肥満傾向児の出現率）

（単位：％）

区 分		男子						女子					
		平成21年			令和元年			平成21年			令和元年		
		福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	3.7	2.8	▲ 1.0	2.4	2.6	▲ 0.3	4.5	2.7	▲ 1.8	1.1	2.9	▲ 1.8
小学校	6歳	3.9	4.6	▲ 0.7	3.9	4.7	▲ 0.8	3.6	4.2	▲ 0.6	3.9	4.3	▲ 0.4
	7歳	6.5	5.6	▲ 0.9	6.3	6.4	▲ 0.1	5.9	5.4	▲ 0.5	4.4	5.6	▲ 1.2
	8歳	8.2	7.5	▲ 0.7	8.6	8.2	▲ 0.4	5.8	7.1	▲ 1.2	6.2	6.9	▲ 0.7
	9歳	8.2	9.6	▲ 1.3	5.7	10.6	▲ 4.9	6.3	7.6	▲ 1.3	4.3	7.9	▲ 3.6
	10歳	8.1	10.8	▲ 2.7	9.2	10.6	▲ 1.5	6.1	8.3	▲ 2.2	5.4	8.5	▲ 3.1
中学校	11歳	7.7	10.6	▲ 2.9	9.3	11.1	▲ 1.8	10.3	8.7	▲ 1.5	6.5	8.8	▲ 2.3
	12歳	9.1	11.5	▲ 2.4	12.1	11.2	▲ 0.9	6.8	9.0	▲ 2.3	8.0	8.5	▲ 0.5
	13歳	9.5	9.7	▲ 0.2	7.3	9.6	▲ 2.3	7.1	8.1	▲ 1.0	6.3	7.9	▲ 1.6
高等学校	14歳	7.5	9.6	▲ 2.1	7.5	9.0	▲ 1.5	6.6	8.2	▲ 1.7	6.3	7.4	▲ 1.1
	15歳	11.1	12.1	▲ 1.0	11.4	11.7	▲ 0.3	10.6	8.5	▲ 2.1	7.7	7.8	▲ 0.2
	16歳	9.9	11.2	▲ 1.3	10.6	10.5	▲ 0.1	6.0	8.3	▲ 2.3	7.1	7.3	▲ 0.2
	17歳	9.6	11.3	▲ 1.7	13.3	10.6	▲ 2.8	8.4	8.4	▲ 0.0	10.0	8.0	▲ 2.0

（注）数字は小数点第2位を四捨五入したもの。四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

表8 本県の順位（肥満傾向児の出現率）

（単位：％、位）

区分		全国平均	県平均	順位	最低値		最高値	
男 子	5歳	2.6	2.4	28	0.3	鳥取県	8.1	岩手県
	6歳	4.7	3.9	34	2.8	滋賀県	9.6	青森県
	7歳	6.4	6.3	28	3.0	兵庫県	10.8	岩手県
	8歳	8.2	8.6	23	5.2	島根県	15.4	青森県
	9歳	10.6	5.7	47	5.7	福井県	16.2	青森県
	10歳	10.6	9.2	37	7.7	滋賀県	19.1	高知県
	11歳	11.1	9.3	39	6.6	鳥取県	16.5	徳島県
	12歳	11.2	12.1	20	6.8	島根県	15.6	秋田県
	13歳	9.6	7.3	41	5.5	滋賀県	15.2	岩手県
	14歳	9.0	7.5	38	5.6	島根県	14.7	高知県
	15歳	11.7	11.4	31	7.5	東京都	19.3	秋田県
	16歳	10.5	10.6	24	5.5	奈良県	18.0	福島県
	17歳	10.6	13.3	12	6.5	富山県	17.3	青森県
女 子	5歳	2.9	1.1	47	1.1	福井県	7.3	青森県
	6歳	4.3	3.9	34	2.4	滋賀県	9.5	青森県
	7歳	5.6	4.4	41	2.7	東京都	9.8	秋田県
	8歳	6.9	6.2	34	3.5	千葉県	13.5	青森県
	9歳	7.9	4.3	47	4.3	福井県	14.1	北海道
	10歳	8.5	5.4	46	4.9	島根県	12.6	群馬県
	11歳	8.8	6.5	43	5.1	千葉県	14.6	岩手県
	12歳	8.5	8.0	33	5.3	奈良県	13.6	宮城県
	13歳	7.9	6.3	40	5.8	神奈川県	13.5	福島県
	14歳	7.4	6.3	40	5.1	三重県	11.4	青森県
	15歳	7.8	7.7	35	5.3	大阪府	13.9	青森県
	16歳	7.3	7.1	36	4.4	京都府	13.9	宮崎県
	17歳	8.0	10.0	8	5.2	富山県	13.2	徳島県

※数値は小数点第2位を四捨五入している

## イ 痩身傾向児

痩身傾向児の出現率を全国平均と比較すると、男子は6歳、8歳、12歳、14歳、16歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。女子は5歳、9歳、13歳、16歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。(図12-1、図12-2、表9)

平成21年度(10年前)と比較すると、男子は全国平均値を下回る年齢が減少しており、女子は全国平均値を下回る年齢が増加している。(表9)

都道府県で比較すると、女子の17歳が全国で最も出現率が低い。(表10)

図12-1 痩身傾向児の出現率(福井県・全国)

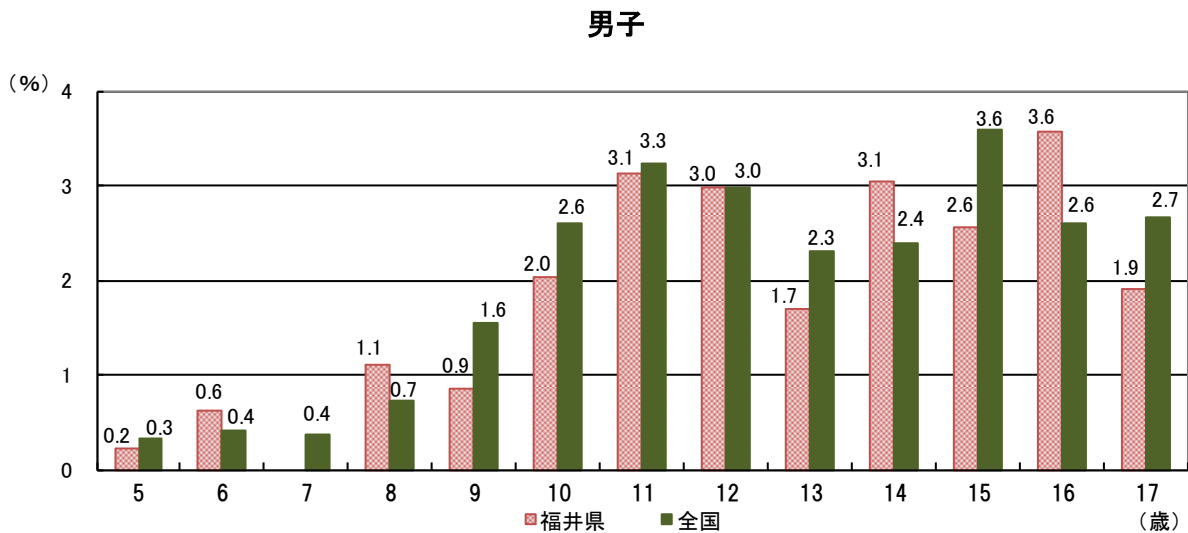


図12-2 痩身傾向児の出現率(福井県・全国)

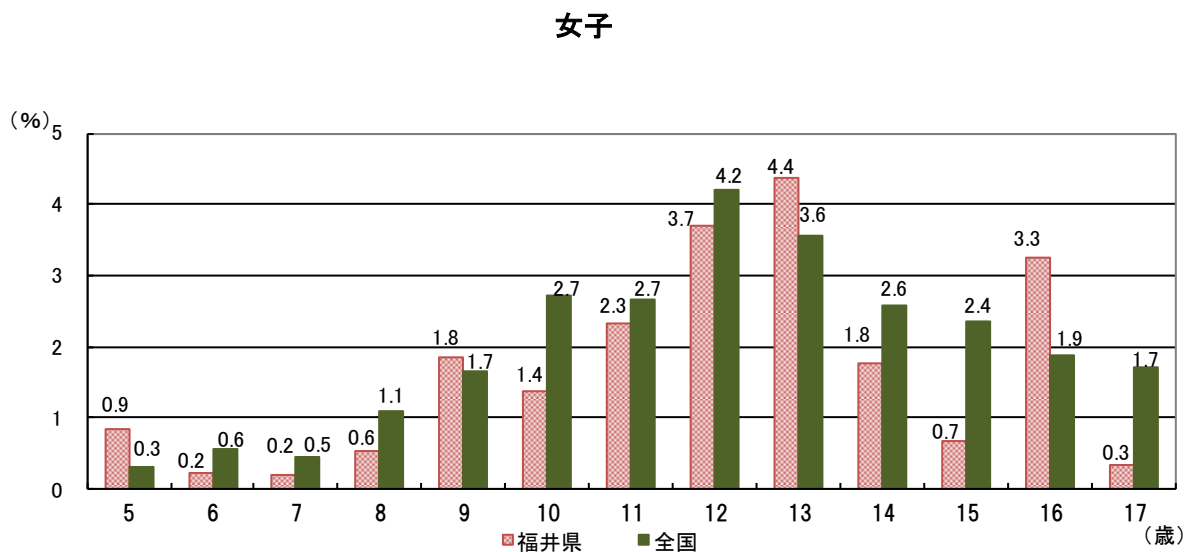


表9 全国平均値との比較（痩身傾向児の出現率）

(単位:%)

区 分		男子						女子					
		平成21年			令和元年			平成21年			令和元年		
		福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	-	0.3	-	0.2	0.3	▲ 0.1	0.6	0.5	0.1	0.9	0.3	0.5
	6歳	0.3	0.4	▲ 0.1	0.6	0.4	0.2	0.7	0.6	0.1	0.2	0.6	▲ 0.3
	7歳	-	0.4	-	-	0.4	-	0.2	0.5	▲ 0.3	0.2	0.5	▲ 0.2
小学校	8歳	0.4	1.1	▲ 0.7	1.1	0.7	0.4	1.3	1.2	0.1	0.6	1.1	▲ 0.5
	9歳	0.9	1.7	▲ 0.8	0.9	1.6	▲ 0.7	1.4	1.8	▲ 0.4	1.8	1.7	0.2
	10歳	2.1	2.6	▲ 0.5	2.0	2.6	▲ 0.6	3.0	2.8	0.2	1.4	2.7	▲ 1.3
	11歳	3.3	3.3	0.0	3.1	3.3	▲ 0.1	2.6	2.7	▲ 0.1	2.3	2.7	▲ 0.4
中学校	12歳	3.0	2.4	0.6	3.0	3.0	0.0	3.4	4.4	▲ 0.9	3.7	4.2	▲ 0.5
	13歳	1.3	1.7	▲ 0.4	1.7	2.3	▲ 0.6	3.9	3.6	0.3	4.4	3.6	0.8
	14歳	1.2	1.9	▲ 0.7	3.1	2.4	0.7	1.8	3.0	▲ 1.2	1.8	2.6	▲ 0.8
高等学校	15歳	2.1	2.5	▲ 0.3	2.6	3.6	▲ 1.0	0.9	2.6	▲ 1.7	0.7	2.4	▲ 1.7
	16歳	-	1.9	-	3.6	2.6	1.0	2.6	1.9	0.8	3.3	1.9	1.4
	17歳	1.6	1.8	▲ 0.2	1.9	2.7	▲ 0.8	1.9	1.7	0.2	0.3	1.7	▲ 1.4

(注)数値は小数点第2位を四捨五入したもの。四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

表10 本県の順位（瘦身傾向児の出現率）

（単位：％、位）

区分	全国平均	県平均	順位	最低値		最高値		
				該当者なし	該当者あり	該当者なし	該当者あり	
男子	5歳	0.3	0.2	23	該当者なし	新潟県、長野県、岐阜県、滋賀県、鳥取県、島根県、香川県、高知県、福岡県、鹿児島県	0.8	岩手県
	6歳	0.4	0.6	14	該当者なし	山形県、茨城県、京都府、愛媛県、沖縄県	1.6	三重県
	7歳	0.4	-	-	該当者なし	福島県、茨城県、富山県、福井県、静岡県、島根県、香川県	1.0	大分県
	8歳	0.7	1.1	14	該当者なし	富山県、宮崎県	2.2	徳島県
	9歳	1.6	0.9	36	該当者なし	和歌山県	3.7	大阪府
	10歳	2.6	2.0	33	0.6	沖縄県	4.8	神奈川県
	11歳	3.3	3.1	18	1.2	沖縄県	5.4	神奈川県
	12歳	3.0	3.0	20	0.8	沖縄県	4.3	京都府
	13歳	2.3	1.7	33	0.7	香川県	3.7	兵庫県
	14歳	2.4	3.1	7	0.8	徳島県	4.6	兵庫県
	15歳	3.6	2.6	31	1.2	愛媛県	5.2	東京都
	16歳	2.6	3.6	9	1.1	岐阜県	4.3	山梨県
	17歳	2.7	1.9	34	0.7	青森県	5.3	新潟県
女子	5歳	0.3	0.9	3	該当者なし	富山県、山梨県、三重県	1.1	島根県
	6歳	0.6	0.2	37	該当者なし	群馬県、奈良県、広島県、山口県	1.1	新潟県
	7歳	0.5	0.2	35	該当者なし	岩手県、山形県、東京都、富山県、岡山県、香川県	1.4	栃木県
	8歳	1.1	0.6	38	0.2	広島県	2.3	奈良県
	9歳	1.7	1.8	17	0.4	青森県	2.7	神奈川県
	10歳	2.7	1.4	42	1.1	佐賀県	5.1	神奈川県
	11歳	2.7	2.3	24	0.9	大分県	4.6	静岡県
	12歳	4.2	3.7	23	1.7	宮崎県	6.1	神奈川県
	13歳	3.6	4.4	5	1.6	沖縄県	5.4	高知県
	14歳	2.6	1.8	38	1.2	大分県	4.7	長野県
	15歳	2.4	0.7	45	0.4	佐賀県	4.0	山梨県
	16歳	1.9	3.3	2	0.4	奈良県	3.4	千葉県
17歳	1.7	0.3	47	0.3	福井県	3.2	長野県	

※数値は小数点第2位を四捨五入している

## 【参考】肥満傾向児・痩身傾向児の算出方法について

以下の式により、性別・年齢別に身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度（過体重度）が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児とする。

$$\text{肥満度（過体重度）} = \left[ \text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)} \right] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重の求め方

（係数 a, b は表を参照）

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339



### 3 健康状態調査

#### (1) 疾病・異常等の状況

令和元年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の疾病・異常等の状況は表11のとおりである。

表11 健康状態調査結果表

(単位:%)

区分		合計				男子				女子				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
裸眼視力	計(1.0未満)	X	34.1	59.7	-	X	31.5	55.1	-	X	36.8	64.6	-	
	1.0未満~0.7以上	X	10.8	10.7	-	X	9.7	11.7	-	X	11.9	9.7	-	
	0.7未満~0.3以上	X	13.3	16.7	-	X	12.8	15.5	-	X	13.9	17.9	-	
	0.3未満	X	10.0	32.4	-	X	9.0	27.9	-	X	11.0	37.1	-	
眼の疾病・異常		1.0	0.9	0.8	0.8	1.2	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9	0.7	0.6	
難聴		...	0.4	0.4	0.1	...	0.5	0.2	0.2	...	0.3	0.7	0.1	
耳鼻咽喉頭	耳疾患	0.2	2.4	1.4	0.3	0.5	2.7	1.4	0.2	-	2.2	1.3	0.3	
	鼻・副鼻腔疾患	-	5.3	1.8	5.5	-	6.8	2.4	5.1	-	3.6	1.1	5.8	
	口腔咽喉頭疾患・異常	3.1	1.3	1.0	0.5	3.4	1.4	0.9	0.3	2.8	1.3	1.2	0.7	
歯・口腔	むし歯	計	34.6	53.8	43.5	61.0	35.9	55.7	42.5	58.5	33.3	51.9	44.6	63.7
		処置完了者	13.0	27.5	24.9	36.4	16.1	28.2	24.3	34.5	9.9	26.8	25.5	38.3
		未処置歯のある者	21.6	26.3	18.6	24.7	19.8	27.4	18.2	23.9	23.4	25.1	19.1	25.4
	歯列・咬合		4.9	3.8	4.3	6.1	5.3	3.6	4.0	5.0	4.4	4.0	4.7	7.2
	顎関節		0.3	-	0.4	0.5	-	-	0.2	0.2	0.6	-	0.5	0.8
	歯垢の状態		1.0	3.5	4.2	5.3	1.5	4.2	5.2	6.4	0.5	2.9	3.1	4.2
	歯肉の状態		-	2.2	3.1	5.7	-	2.6	3.7	7.0	-	1.7	2.4	4.5
	その他の疾病・異常		1.6	7.3	4.6	2.6	1.3	7.4	5.1	2.7	2.0	7.2	4.0	2.5
(う)歯(等)数	永久歯の1人当り	計(本)	...	...	1.1	...	...	0.9	...	...	...	1.2	...	
		喪失歯数(本)	...	...	0.0	...	...	-	...	...	...	0.0	...	
	むし歯(う)歯	計(本)	...	...	1.1	...	...	0.9	...	...	...	1.2	...	
		処置歯数(本)	...	...	0.7	...	...	0.6	...	...	...	0.8	...	
		未処置歯数(本)	...	...	0.4	...	...	0.3	...	...	...	0.4	...	
栄養状態		0.4	2.4	0.9	0.7	0.8	2.8	1.0	1.0	-	1.9	0.9	0.4	
せき柱・胸郭・四肢の状態		0.1	0.5	1.0	0.7	0.3	0.6	1.2	0.6	-	0.3	0.9	0.8	
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	4.1	3.9	1.8	2.0	4.1	4.1	2.3	2.1	4.1	3.7	1.3	1.9	
	その他の皮膚疾患	1.4	0.6	0.4	0.2	2.0	0.4	0.4	0.2	0.8	0.7	0.5	0.2	
結核の精密検査の対象者		...	0.1	-	...	...	0.1	0.0	...	...	0.1	-	...	
結核		...	-	-	-	...	-	-	-	...	-	-	-	
心臓の疾病・異常		0.4	1.0	0.8	0.8	0.3	0.9	0.8	0.9	0.4	1.1	0.8	0.6	
心電図異常		...	2.6	1.0	0.9	...	3.0	1.2	1.3	...	2.2	0.8	0.6	
たんぱく検出の者		0.0	0.5	2.6	6.0	-	0.3	3.4	7.6	0.1	0.7	1.6	4.5	
尿糖検出の者		...	0.1	0.2	0.2	...	0.0	0.3	0.2	...	0.1	0.1	0.2	
その他の疾病・異常	ぜん息	2.0	2.0	1.1	1.0	2.5	2.3	1.3	1.0	1.5	1.6	0.8	0.9	
	腎臓疾患	0.4	0.2	0.2	0.2	0.8	0.2	0.2	0.2	-	0.2	0.2	0.1	
	言語障害	0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.4	0.1	0.0	-	0.2	0.0	-	
	その他の疾病・異常	1.6	5.4	6.2	4.4	1.6	6.2	6.8	4.7	1.6	4.6	5.6	4.0	

(注)1 この表は健康診断受検者のうち、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者)の占める割合を示したものである。

2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。

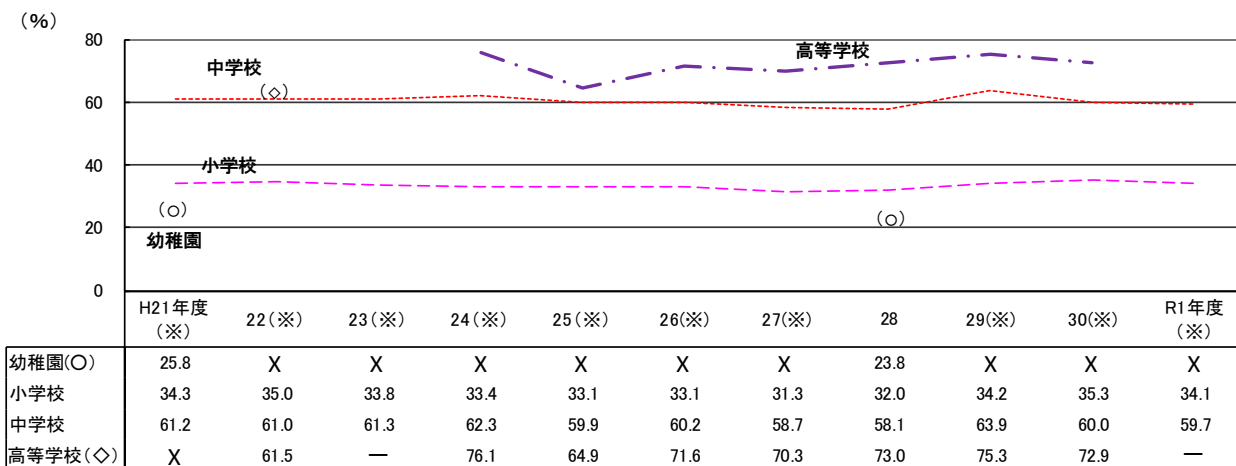
## (2) 主な疾病・異常等の推移

### ア 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校は 34.1%、中学校は 59.7% となっており、前年度から減少している。

ここ 10 年間（平成 21 年度以降）の推移をみると、小学校、中学校および高等学校はほぼ横ばいで推移している。（図 1 3）

図 1 3 学校種別 裸眼視力 1.0 未満の者の推移（福井県）



※ 幼稚園のH22～27、H29～30およびR1、高等学校のH21は未公表。高等学校のH23、R1は調査対象となる受検者がいないため該当者なし。

全国平均と比較すると、平成 21 年度（10 年前）は幼稚園、小学校および中学校、令和元年度は中学校において全国平均値を上回っている。

また、視力の内訳をみると、平成 21 年度の幼稚園、小学校および中学校、令和元年度の小学校および中学校において、0.3 未満の者の割合が全国を上回っている。（表 1 2）

表 1 2 全国平均値との比較（裸眼視力 1.0 未満の者の割合）

(単位:%)

区分	平成21年度								令和元年度							
	福井県				全国				福井県				全国			
	裸眼視力	うち	うち	うち	裸眼視力	うち	うち	うち	裸眼視力	うち	うち	うち	裸眼視力	うち	うち	うち
幼稚園	25.8	0.7以上	0.3以上	0.3	24.9	0.7以上	0.3以上	0.3	X	X	X	X	26.1	0.7以上	0.3以上	0.3
小学校	34.3	1.0未満	0.7未満	未満の者	29.7	1.0未満	0.7未満	未満の者	34.1	1.0未満	0.7未満	未満の者	34.6	1.0未満	0.7未満	未満の者
中学校	61.2	9.5	13.8	9.5	52.5	12.5	18.0	22.0	59.7	10.7	16.7	32.4	57.5	12.7	17.7	27.1
高等学校	X	X	X	X	59.4	13.6	18.1	27.7	—	—	—	—	67.6	11.3	17.4	39.0

※福井県の平成21年度の高等学校および令和元年度の幼稚園の調査結果は未公表。

福井県の令和元年度の高等学校は調査対象となる受検者がいないため該当者なし。

四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【裸眼視力の取扱いについて】

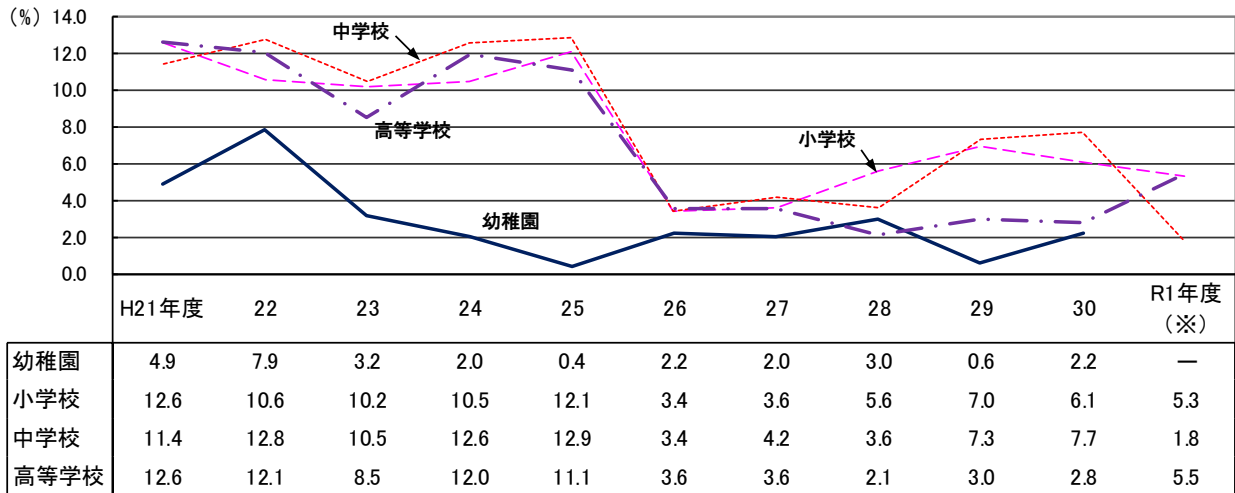
裸眼視力検査では、視力を矯正している者（眼鏡またはコンタクトレンズ装着者）が、裸眼視力検査を省略した場合は、その者の所属する学級の全員を調査対象外とする。

## イ 鼻・副鼻腔疾患の者

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合は、小学校は5.3%、中学校は1.8%、高等学校は5.5%となっている。

ここ10年間（平成21年度以降）の推移をみると、小学校、中学校、高等学校はおおむね横ばい傾向から平成26年度に大幅に減少、小学校および中学校は平成28年度から平成29年度は増加傾向となった。なお、今年度は小学校、中学校で減少、高等学校で増加している。（図14-1）

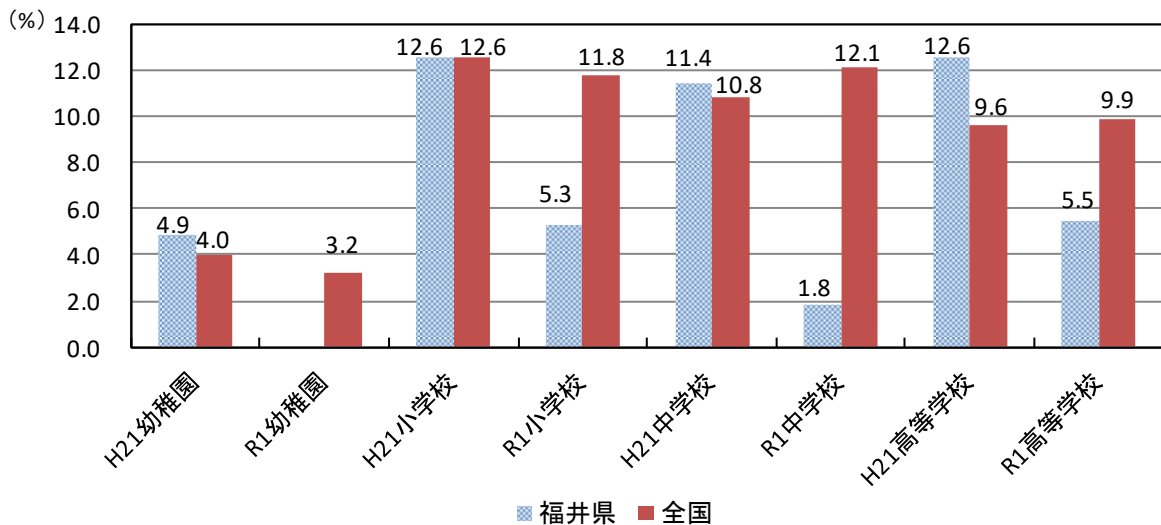
図14-1 学校種別 鼻・副鼻腔疾患の者の推移（福井県）



※幼稚園のR1は該当者なし

全国平均と比較すると、平成21年度は小学校を除き、すべての学校種別において全国平均値を上回っている。また、令和元年度はすべての学校種別において全国平均値を下回っており、特に中学校において全国との差が大きい。（図14-2）

図14-2 全国平均値との比較（鼻・副鼻腔疾患の者の割合）



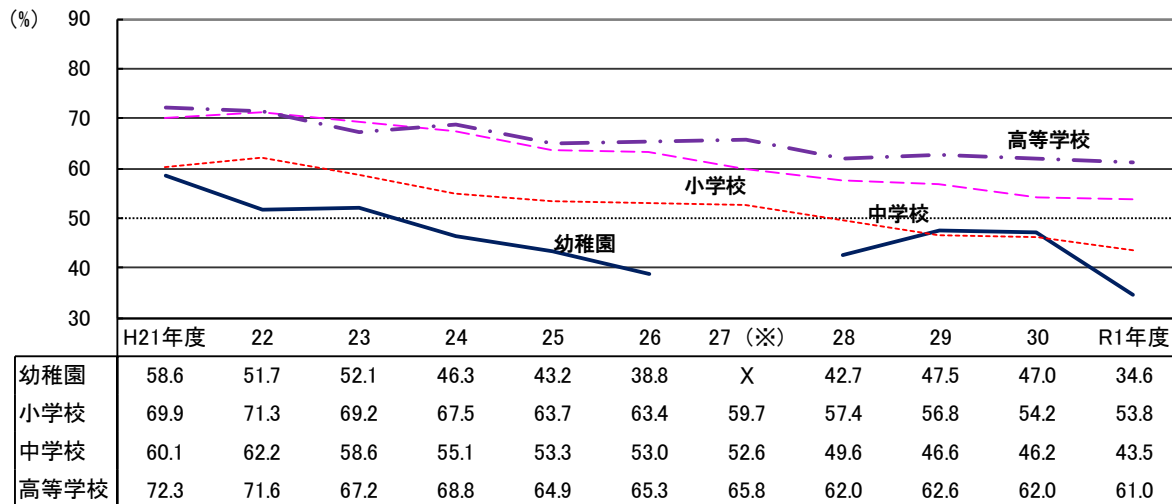
※幼稚園のR1は該当者なし。

## ウ むし歯（う歯）の者

むし歯の者の割合（処置完了者を含む）は、幼稚園は34.6%、小学校は53.8%、中学校は43.5%、高等学校は61.0%となっている。すべての学校種別で前年度より減少している。

ここ10年間（平成21年度以降）の推移をみると、小学校、中学校、高等学校は緩やかな減少傾向にある。（図15）

図15 学校種別 むし歯の者の推移（福井県）



※幼稚園のH27は未公表。

全国平均と比較すると、平成21年度（10年前）および令和元年度ともに、すべての学校種別において全国平均値を上回っている。（表13）

表13 全国平均値との比較（むし歯の者の割合）

（単位：％）

区分	平成21年度						令和元年度					
	福井県			全国			福井県			全国		
	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 置歯 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 置歯 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 置歯 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 置歯 の
幼稚園	58.6	20.4	38.2	46.5	18.8	27.7	34.6	13.0	21.6	31.2	12.0	19.2
小学校	69.9	35.0	34.9	61.8	30.3	31.5	53.8	27.5	26.3	44.8	23.1	21.7
中学校	60.1	30.8	29.2	52.9	28.8	24.1	43.5	24.9	18.6	34.0	19.8	14.2
高等学校	72.3	37.2	35.2	62.2	34.7	27.5	61.0	36.4	24.7	43.7	26.4	17.3

※四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

表14 永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）本数の推移（12歳のみ調査）

（単位：本）

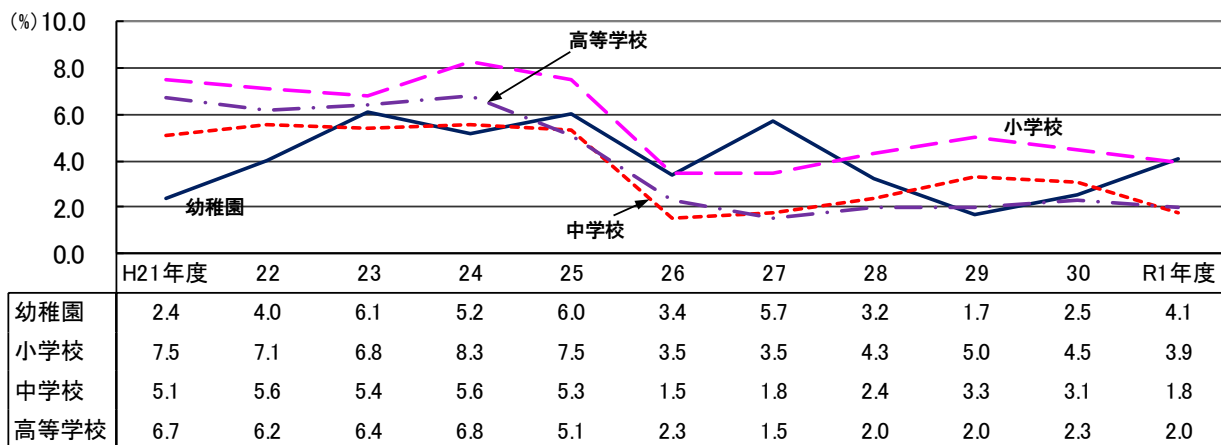
区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福井県	1.4	1.2	1.1	1.1	1.1
全国	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7

## エ アトピー性皮膚炎の者

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園は4.1%、小学校は3.9%、中学校は1.8%、高等学校は2.0%となっている。幼稚園は前年度から増加しているが、小学校、中学校、高等学校は前年度から減少している。

ここ10年間（平成21年度以降）の推移をみると、小学校、中学校および高等学校は平成26年度に大幅に減少したが、それ以降は幼稚園を除き、おおむね横ばい傾向にある。（図16-1）

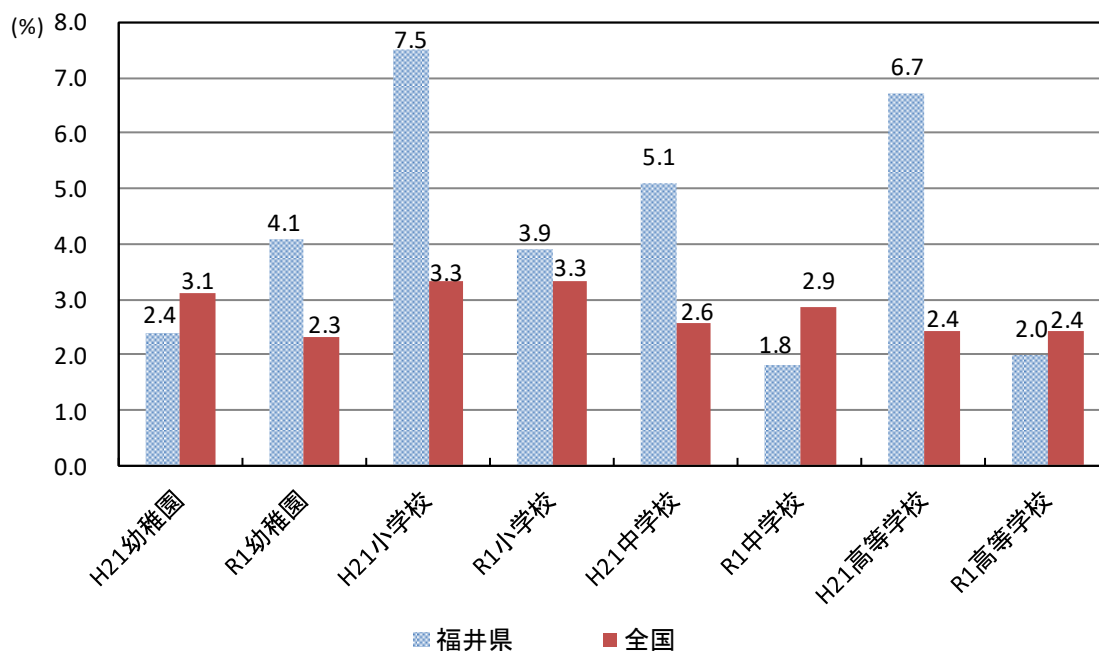
図16-1 学校種別 アトピー性皮膚炎の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成21年度（10年前）は、小学校、中学校および高等学校において全国平均値を上回っており、令和元年度は、幼稚園、小学校において全国平均値を上回っている。

また、幼稚園以外では平成21年度から令和元年度にかけて全国との差が小さくなっている。（図16-2）

図16-2 全国平均値との比較（アトピー性皮膚炎の者の割合）

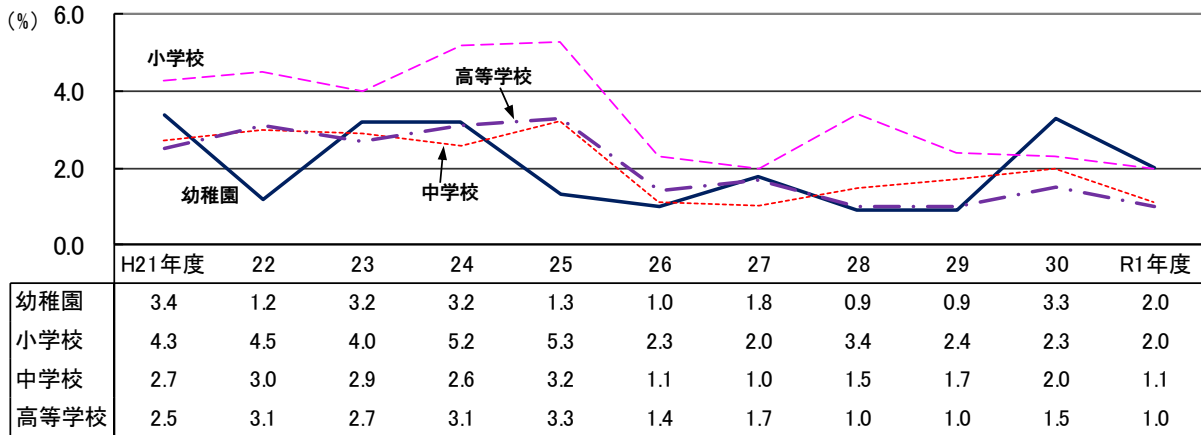


## オ ゼン息の者

ぜん息の者の割合は、幼稚園、小学校は2.0%、中学校は1.1%、高等学校は1.0%となっている。すべての学校種別で前年度より減少している。

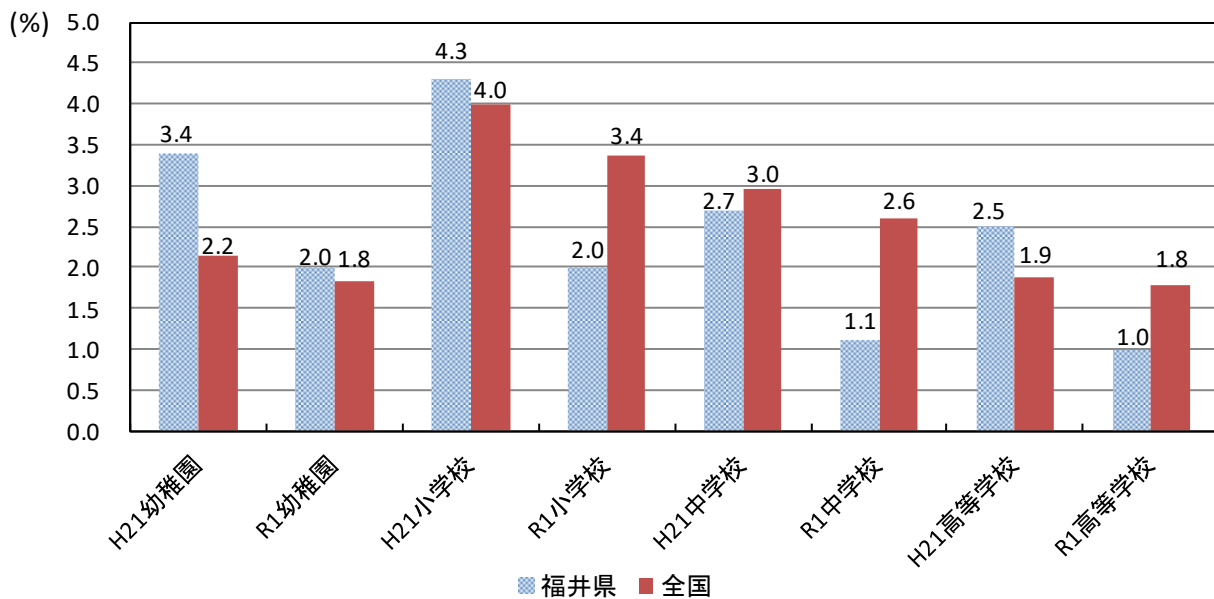
ここ10年間（平成21年度以降）の推移をみると、小学校、中学校、高等学校はおおむね横ばい傾向から平成26年度に減少し、それ以降、中学校および高等学校はおおむね横ばい傾向にある。（図17-1）

図17-1 学校種別 ゼン息の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成21年度（10年前）は中学校では全国平均値を下回っており、令和元年度は幼稚園以外では全国平均値を下回っている。（図17-2）

図17-2 全国平均値との比較（ぜん息の者の割合）



あらかじめ、  
幸せだったらいいな。

幸せ度  
いちばん  
福井県